



吉原真里  
Mari Yoshibara

ニューヨーク生まれ。東京大学教養学部卒、米国ブラウン大学博士号取得。ハワイ大学アメリカ研究学部教授。専門はアメリカ文化史、アメリカ=アジア関係史、ジェンダー研究など。著書に『アメリカの大学院で成功する方法』『ドット・コム・ラヴァーズ—ネットで出会うアメリカの女と男』(以上中公新書)、『性愛英語の基礎知識』(新潮新書)、『ヴァン・クライバーン国際ピアノ・コンクール—市民が育む芸術イベント』『「アジア人」はいかにしてクラシック音楽家になったのか?—人種・ジェンダー・文化資本』(以上アルテスパブリッシング)、共編著に『現代アメリカのキーワード』(中公新書)、共著に『私たちが声を上げるとき—アメリカを変えた10の問い』(共著、集英社新書)、そのほか英文著書多数。最新作は私小説『不機嫌な英語たち』(晶文社)。

法』『ドット・コム・ラヴァーズ—ネットで出会うアメリカの女と男』(以上中公新書)、『性愛英語の基礎知識』(新潮新書)、『ヴァン・クライバーン国際ピアノ・コンクール—市民が育む芸術イベント』『「アジア人」はいかにしてクラシック音楽家になったのか?—人種・ジェンダー・文化資本』(以上アルテスパブリッシング)、共編著に『現代アメリカのキーワード』(中公新書)、共著に『私たちが声を上げるとき—アメリカを変えた10の問い』(共著、集英社新書)、そのほか英文著書多数。最新作は私小説『不機嫌な英語たち』(晶文社)。



広上淳一  
Junichi Hirokami

東京生まれ。尾高惇忠にピアノと作曲を師事、音楽、音楽をすることを学ぶ。東京音楽大学指揮科卒業。26歳で第1回キリル・コンドラシン国際青年指揮者コンクールに優勝。これまでノールショッピング響、リンブルク響、ロイヤル・リヴァプール・フィル、コロンバス響のポストを歴任。フランス国立管、ライプツィヒ・

ゲヴァントハウス管、コンサートヘボウ管、モントリオール響、イスラエル・フィル、ロンドン響、ウィーン響、サンクトペテルブルク・フィルなどへ客演を重ねる。2008年より京都市交響楽団常任指揮者、14年よりミュージック・アドヴァイザーも兼務。15年には同団と共にサントリー音楽賞を受賞。20年より常任指揮者兼芸術顧問、14年間にわたり京都市交響楽団と共に輝かしい時代を築いた。現在、オーケストラ・アンサンブル金沢アーティストック・リーダー、日本フィルハーモニー交響楽団フレンド・オブ・JPO(芸術顧問)、札幌交響楽団友情指揮者、京都市交響楽団広上淳一。また、東京音大指揮科教授として教育活動にも情熱を注いでいる。

ミニ・コンサート



菅沼千尋 (ソプラノ)  
Chihiro Sukanuma

東京都出身。東京音楽大学声楽特別演奏家コースを経て、2024年3月、同大学院声楽専攻オペラ研究領域修了予定。第22回長江杯国際音楽

コンクール声楽部門大学生の部第3位入賞。第12回東京国際声楽コンクール大学生部門全国大会入賞。大学院オペラ「夕鶴」つう役、「秘密の結婚」エリゼッタ役に出演。学内「第九」演奏会ソプラノソリストを務め、広上淳一氏と共演。



佐々木統馬 (バリトン)  
Toma Sasaki

東京都出身。2024年3月、東京音楽大学声楽専攻卒業予定。中学生の時にミュージカルを観劇し舞台の道を志す。都立総合芸術高校では舞台表現を専攻。高校入学と同時にヴォイストレーニングを開始、クラシックバレエ、声楽を学び始める。大学4年時にはドイツ歌曲マスタークラスにも選出された。これまで多くの舞台に出演のほか、ミュージカル指導など教育分野にも携わっている。



新原有紀子 (ピアノ)  
Yukiko Niihara

鹿児島市出身。3歳でピアノを始める。第60回全日本学生音楽コンクール北九州地区本選奨励賞、第12回宮日音楽コンクール中学の部最優秀賞・ジュニア特別賞、ショパン国際ピアノコンクールin Asiaアジア大会銀賞。2024年3月に東京音楽大学器楽科ピアノ創作コースを卒業および同大学音楽学課程修了予定。現在、作曲・編曲にも活動の場を広げ、後期浪漫派音楽を研究対象に研鑽を積んでいる。



美馬亜貴子 (司会進行)  
Akiko Mima

札幌出身の編集者/ライター。ラジオDJ(AIR-G、HBC)を経てシンコミュニケーションに入社。洋楽雑誌『CROSSBEAT』の編集者として勤務、2002年よりフリーランス。編集本に『ビートルズと日本~週刊誌の記録』(大村亨著)、『JAPAN 1974-1984 光と影のバンド全史』(アンソニー・レイノルズ著)、など。

チケット

3/14(木) 一般発売 全自由席 チケット料金 2,500円 (北区民割引 2,200円)  
\*東京都北区にお住まいの方は、割引価格で購入できます。割引での購入はおひとり様4枚まで。ほくちけおよび北とぴあ一階チケット売り場のみ対応いたします。北区在住を確認できるもの(免許証、保健証など)をご提示ください。

チケットの購入方法

- 北とぴあ一階チケット売り場で購入(臨時休館日は10:00~18:00、全館休館日は休業)
- ほくちけ(ほくとぴあチケットオンライン) <https://p-ticket.jp/kitabunka>
- お電話にてご予約 THE MUSIC PLANT 03-5944-6187(平日 13:00~18:00)  
未就学児童のご入場はご遠慮ください。  
車椅子でご来場の方は、チケットをお求めのうえ、事前に(公財)北区文化振興財団 03-5390-1221(平日9:00~17:00)へご連絡ください。

ほくちけ



ご協力いただいている  
地元の本屋さん

北区の4書店(王子、赤羽)にて当該書籍をご購入の皆様全員に  
当レクチャー&ミニ・コンサートのチケットをプレゼント! 詳しくは店頭まで。

- 青猫書房(赤羽駅徒歩10分) ■ブックスページワン イトーヨーカドー赤羽店(赤羽駅前)
- 文教堂 赤羽店(赤羽駅徒歩2分) ■CROSSBOOKS サミット王子店(王子神谷駅徒歩3分)

# 感動のノンフィクションから読みとく 20世紀の偉大な音楽家バーンスタイン 講演&対談&ミニ・コンサート

北とぴあ  
音楽と本祭  
Vol.1

2024.7.6(土) 開場 13:00 開演 14:00

北とぴあ つつじホール

- ・吉原真里 講演
- ・広上淳一 × 吉原真里 対談
- ・「音楽本大賞 2024」受賞作紹介
- ・菅沼千尋・佐々木統馬・新原有紀子  
「バーンスタイン ヒットセレクション」

Program

ロビーでは、音楽本を出版している出版社が多数出店。バーンスタイン関連CDやDVD販売、天野和子さんの手紙の写真カラーパネル展示、パシフィック・ミュージック・フェスティバル(PMF)札幌2024のポスター掲出、バーンスタインが愛したに違いないユダヤのお菓子販売、著者サイン会等が行われます。詳しくは特設サイトをご覧ください。  
(16:00終演予定・プログラムは変更になる可能性があります)

特設サイト



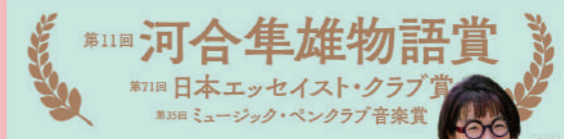
本の紹介

## 親愛なるレニー

レナード・バーンスタインと戦後日本の物語



親愛なるレニー  
レナード・バーンスタインと  
戦後日本の物語



私は小説や映画以外で、これほどまでに美しい本物のラブレターを読んだことがないという驚きを感じました。  
小川洋子 氏(小説家) 著  
第11回 河合隼雄物語賞 受賞  
第71回 日本エッセイスト・クラブ賞 受賞  
第35回 ミュージック・ペンクラブ賞 受賞

私は小説や映画以外で、これほどまでに美しい本物のラブレターを読んだことがないという驚きを感じました。  
小川洋子(小説家)

芸術と愛に生きた巨匠バーンスタインの  
実像にせまる感動のノンフィクション!  
スキヤンダルとして扱うのではなく、  
節度と敬意をもって真意を読み取ろうとする。  
その余白が言外の余情ともなっている。  
青澤隆明氏(音楽評論家) 時事通信

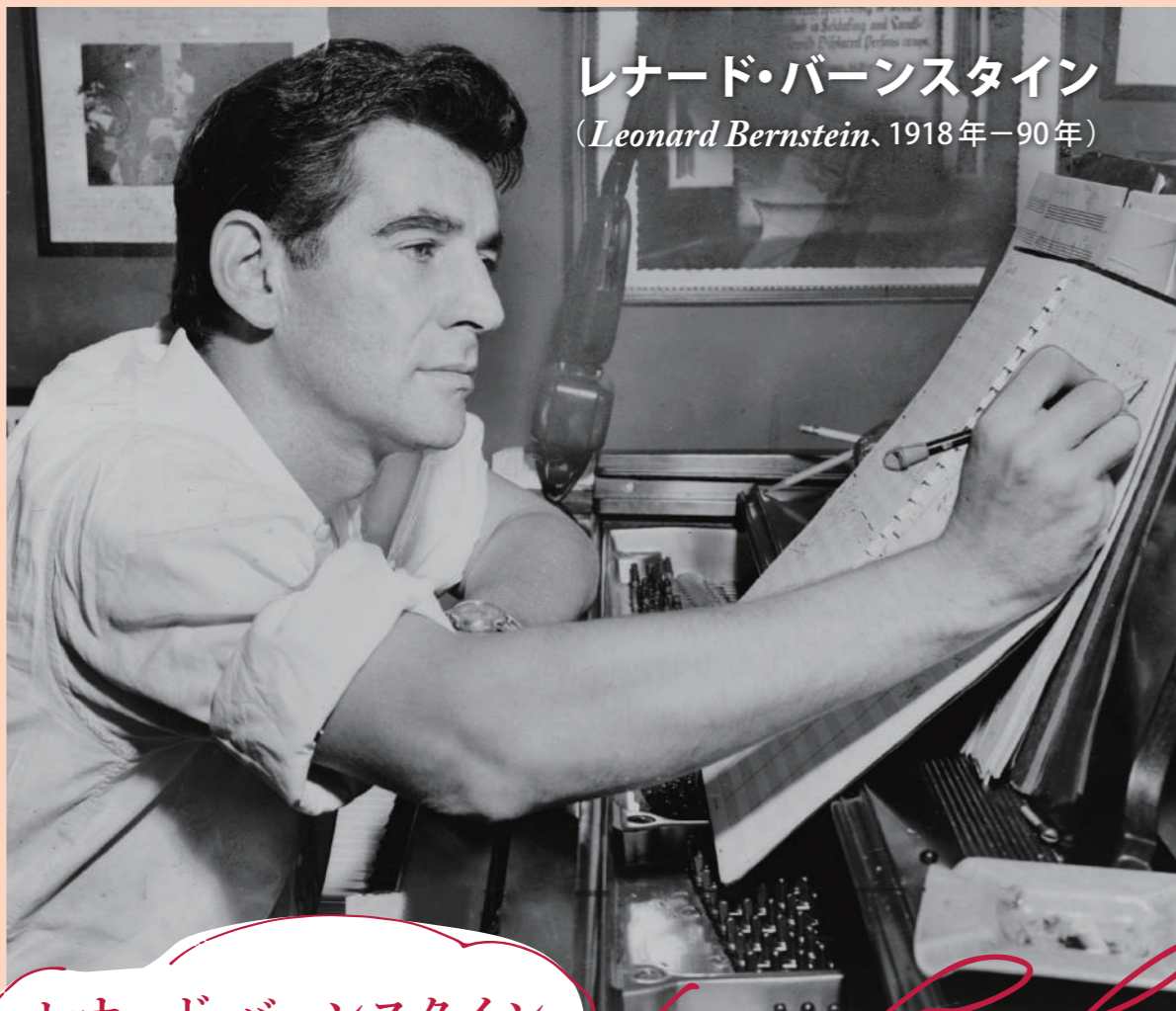
…でもレニー、僕はあなたを愛してしまったし、忘れることはできないのです。  
あなたは僕にこう言いましたよね。  
「誰かと恋に落ちたくはない、なぜならそれは、自分の人生を変えてしまうから」  
(本文より)

主催/制作: THE MUSIC PLANT  
特設サイト: [www.mplant.com/lenny](http://www.mplant.com/lenny)

お問い合わせ  
THE MUSIC PLANT TEL: 03-5944-6187(平日: 13:00~18:00)  
留守番電話にはご連絡先をお残しください。こちらより折り返します。

協力: アルテスパブリッシング、音楽本大賞  
共催: (公財)北区文化振興財団





レナード・バーンスタイン  
(Leonard Bernstein, 1918年-90年)

レナード・バーンスタイン  
ってどんな人



ユダヤ系アメリカ人の指揮者、作曲家、ピアニスト。バーンスタインについて知らない人でもミュージカル&映画『ウエスト・サイド・ストーリー』の名前は聞いたことがあるのではないだろうか。

バーンスタインはアメリカが生んだ最初の国際的指揮者であり、20世紀後半のクラシック音楽界をリードしてきた大音楽家だった。愛称はレニー。

「私の人生にとって大切なものは2つある。それは音楽と人間だ。どちらが好きかと聞かれても答えられないね」

バーンスタインは1943年からニューヨークフィルのアシスタント指揮者となり、44年急病で倒れたブルーノ・ワルターの後で大成を収め彗星のごとくシーンに登場する。45～8年ニューヨーク・シティ交響楽団音楽監督、47～90年イスラエル・フィル名誉指揮者、57～69年ニューヨーク・フィル首席指揮者を歴任、指揮者としての名声を高めると同時に作曲家としても交響曲第1番『エレミア』、『キャンディード』そして『ウエスト・サイド・ストーリー』といった大ヒット・ミュージカル作品を作曲して大成功を収めた。

またバーンスタインは、教育者としても素晴らしい実績を残した。タンゲルウッド音楽祭、そして札幌のパシフィック・ミュージック・フェスティ

バル (PMF) など若手、後進の教育面にも大変熱心に取り組んだ。

テレビシリーズ『ヤング・ピープルズ・コンサート』では、メインパーソナリティをつとめるばかりではなく、企画を考え、台本を書き、音楽鑑賞に新しいムーブメントを起した。日本でもこの人気番組に影響され『題名のない音楽会』という番組が誕生した。

またバーンスタインは、さまざまな政治・社会問題についても信念を貫き、米ソ冷戦期に反核や平和運動などに大きな声をあげ続け、音楽という領域を超えて世界に広く多大な影響を与える存在でもあった。

**映画で知るバーンスタイン**  
1957年初演のブロードウェイ・ミュージカル『ウエスト・サイド・ストーリー』は1961年に映画化されて世界中で大ヒットとなった。2022年にはスピルバーグがリメイク。また妻であるフェリシアとの愛と葛藤を描いた映画『マエストロ：その音楽と愛と』ではブラッドリー・クーパーがバーンスタインを演じ、監督、脚本、製作も手がけた。



芸術と愛に生きた巨匠バーンスタインの実像にせまる  
感動のノンフィクション  
『親愛なるレニー』  
レナード・バーンスタインと戦後日本の物語



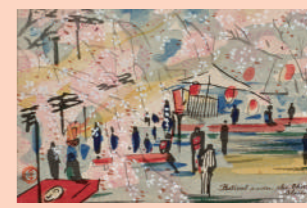
定価：本体2,500円〔税別〕  
四六判・上製・448頁  
ブックデザイン：木下悠  
カバー装画：ナガノチサト  
2022.10.28 発売

試し読みは  
こちら▶

ワシントンにあるアメリカ議会図書館。  
そこにある膨大なバーンスタインのコレクションの目録を見ていた著者が、ふとした偶然で、コレクションに収められている二人の無名の日本人からの手紙を発見。そこから、この物語はスタートする。

**天野和子さん：ファン1号 最初は船便で、そしてエアメールで。  
40年以上にわたる熱心なファン。  
心をこめて丁寧に綴られた手紙たち**

本書の主演の一人である天野和子さん(旧姓上野・当時18歳)は、1947年CIE図書館で、まだアメリカでも無名の存在だったバーンスタインの書いたエッセイに出会う。和さんは、住所もわからないまま雑誌の編集部気付で手紙を書く。そこから和さんは、40年以上にもわたって熱心なファン、理解者、そして友人としてマエストロの人生を遠くから見守り、応援し続けた。英語の教科書に出てきそうな美しい筆記体で書かれ、便箋もとても丁寧に選ばれ、心をこめて時間をかけて書かれた和さんの手紙の数々。ユダヤ人というアイデンティティを生涯とても大切に、国内外の差別や戦争といった社会問題にもコミットしていたバーンスタインは、数年前までの敵国・日本から来た手紙をどう捉えていたのだろうか。そしてバーンスタインの初来日を機に、マエストロとの、家族ぐるみのリアルな交際が始まっていく。



天野菊子さん提供

**橋本邦彦さん：海を越えて結ばれた狂おしいほどの思い**

“……でもレニー、僕はあなたを愛してしまっただけで、忘れることはできないのです。あなたは僕にこう言いましたよね。「誰かと恋に落ちたくはない、なぜならそれは、自分の人生を変えてしまうから」”(本文より)  
これはバーンスタインの1979年来日ツアーの最終日、マエストロと一夜を過ごした橋本邦彦さんが、翌日綴った手紙の一節。誰もが感じたことがあるような狂おしいほどの思いが熱く綴られている。バーンスタインはその後、橋本さんを海外でのヴァカンスに呼び寄せ、二人は逢瀬を重ねていった。前年に妻を亡くしていたバーンスタインだが、彼が同性愛者だということは公然の事実でもあった。バーンスタインとの出会いから、橋本さんの人生もまた新たな方向へと舵を切ることになる。橋本さんは芸術の道に進み、やがてはバーンスタインの日本代表(レップ)として、マエストロの夢の実現に尽くすこととなっていく。



橋本邦彦さん提供

**パシフィック・ミュージック・フェスティバル (PMF) 札幌  
バーンスタインが日本に遺してくれたもの**

バーンスタインは、日本のクラシック音楽家の育成にも力を注いでくれた。小澤征爾、五嶋みどり、佐渡裕…その多くが世界的な舞台上で活躍。反核を掲げた1985年の広島平和コンサート、最後に自分の健康状態を押してまで立ち上げた国際教育音楽祭パシフィック・ミュージック・フェスティバル (PMF) 札幌など。教え、愛を伝えることが大好きだったバーンスタイン。日本はその最後の海外公演の場所となった。



© PMF 組織委員会

ほく  
**北とぴあ**  
〒114-8503 北区王子1-11-1  
JR 京浜東北線王子駅北口徒歩2分  
東京メトロ南北線王子駅 5番出口直結  
王子は東京駅からJR京浜東北線で20分。また東京メトロ南北線で四ツ谷からも17分です。隣接する飛鳥山には、新1万円札で話題の渋沢栄一の博物館をはじめとして、ユニークな博物館が3つもあり、王子神社には緑があふれています。周辺には個性的なお店もたくさん。

**Access**

**北とぴあ  
音楽と本祭  
Vol.1**